



7月27日 とうもろこしまつり 甘いとうもろこしに長蛇の列

道の駅「あぐりーむ昭和」で「とうもろこしまつり」が開催されました。道の駅で育てたとうもろこしの収穫体験や採れたとうもろこしをその場で焼いて提供する、焼きとうもろこしの販売が行われました。

真夏日のじりじりと焼ける様な日差しの中、村産の甘いとうもろこしを求めて家族連れの方など多くの方が訪れました。焼きとうもろこしの甘く香ばしい匂いが会場に漂い、販売所には長蛇の列ができるほどの賑わいを見せました。



香ばしい匂いで食欲をそそる焼きとうもろこし



7月24日 消防ポンプ車納車式 第5・第10分団に新車両が納車

村消防団（横坂晃^{あきら}団長）は消防ポンプ車の納車式を森下J A跡地倉庫で行いました。引き渡しを受けたのは永井地区を管轄する第5分団（藤井和信^{かずのぶ}分団長）と、生越地区を管轄する第10分団（林淳樹^{じゅんき}分団長）。横坂団長からそれぞれの分団長に鍵が伝達されました。

納車式にあたり高橋村長は「有事の際、新車両の活躍に期待しています」とあいさつ。横坂団長は「計画的な車両の更新に感謝します。地域防災の要として、予防消防に務めていきます」と謝辞を述べました。



横坂団長から伝達を受けた第5分団（左）と第10分団（右）



7月10日 教育漫才ワークショップ ホールが笑いに包まれる

昭和中学校（根岸敦子^{あつこ}校長）では、村と吉本興業ホールディングス（株）との包括連携協定により行われている教育漫才ワークショップが開催されました。

新1年生49人が参加し、アンカンミンカンが講師を務めました。ワークショップは2日間行われ、初日は漫才について学び、2日目、生徒たちは事前に練習したネタを披露。舞台上でボケやツッコミが入ると、会場は笑い声に包まれました。生徒たちは漫才を通して、人前に立ち、笑いを取るという貴重な体験をしました。



クラスメイトの前で漫才の披露



7月20日 第27回参議院議員通常選挙 参院選、前回投票率を6.36%上回る

第27回参議院議員通常選挙が、村内8カ所の投票所で選挙区選挙と比例代表選挙の投票が行われました。開票は即日、午後8時から役場会議室で行われました。

開票の結果、選挙区選挙の投票率は58.83%。前回行われた同選挙の投票率を6.36%上回りました。

◆村内投票結果（選挙区）

候補者名	党派	得票数
青木 ひとみ	参政党	857
清水 まさと	自由民主党	1,330
井田 雅彦	無所属連合	54
高橋 たもつ	日本共産党	172
河村 まさたけ	立憲民主党	444
上条 宗之	NHK党	30
からしま みき	無所属	67



役場会議室で行われた開票作業

6月27日 糸井地区で百万遍 受け継がれる地域の伝統

糸井地区でなんまいだ^{ひゃくまんべん}が行われました。無
病息災を祈願し、害虫を追い払う伝統行事。小学生た
ちが各家庭をまわり、鉦^{かね}を鳴らしながら「なんまいだ、
なんまいだ」と大きな声で唱えていました。



数珠を操り、なんまいだを唱える児童たち

「第6回日本子育て支援大賞2025」受賞 子育てしやすい村を目指して

村は「第6回日本子育て支援大賞2025(一般社団法人
日本子育て支援協会主催)」を受賞しました。県内自治体
では村が初めての選出。医療や教育などの充実した子育て
で支援策を打ち出していることが評価されました。



村に贈られた賞状とトロフィー

7月1日 社会を明るくする運動 支え合える温かな社会の実現

村更生保護女性会(布施典子会長)が「社会を明るく
する運動」で村内保育園を訪問しました。手作りの和
紙人形やメッセージを送り、園児からはお返しとして
歌や踊りなどで感謝の気持ちを伝えました。



村内保育園を訪れた更生保護女性会の皆さん

6月30日 南小児童がポケットパークに花植え 村の玄関口を華やかに

南小学校(吉野満由美校長)の5年生が総合的な学習
の時間として、ポケットパークに花植えを行いました。
森下地区の方々の協力のもと行われ、昭和インター
チェンジ沿いがきれいに彩られました。



花植えを行う児童たち

7月11日 たま農園でブルーベリー狩り ブルーベリーでお口いっぱい

第二保育園の園児たちは、たま農園(根岸まさみさ
さん)でブルーベリー狩りを行いました。園児たちは、
大きく育ったブルーベリーを見つけては、口いっぱい
に頬張っていました。



ブルーベリー狩りを行う園児たち

6月24日 各保育園で防火教室 かるたで学ぶ、防火・防災知識

利根沼田広域消防本部(関和弘消防長)による防火教
室が村内各保育園で行われました。園児たちは、かる
たやクイズを通して防火防災に対する火災の危険性や
予防策について学びました。



法被をきて記念撮影



6月27日 イーグルポイント市から来村 異文化交流を楽しむ

村と国際姉妹都市提携を結んでいるアメリカ合衆国オレゴン州イーグルポイント市から15人が来村しました。村内家庭へのホームステイや昭和中学校訪問を通じて、生徒たちとふれあい、親睦を深めました。



昭和中学校で交流を深めた生徒たち



7月8日 群馬県社会保険労務士会と災害時協力協定 災害時に届ける安心・安全

村は群馬県社会保険労務士会渋川支部(山本和久支部長)と災害時の被災者支援に関する協定を結びました。この協定は、災害発生時に同支部の会員が村民の労働や社会保険などに関する相談に無料で応じます。



協定書に署名を行った高橋村長と山本支部長(右)



7月11日 望郷ライン沿いを草刈り 農業委員と村議会議員が奉仕活動

村農業委員会(林孝志会長)と村議会(永井一行議長)が合同で、総合運動公園周辺と望郷ライン沿いの草刈りを行いました。この作業は、村の財産である村有林の環境美化活動として毎年行われています。



望郷ライン沿いを整備する農業委員の皆さん



6月28日 志村第5小学校と交流会 疎開の縁から続く交流

東小学校(加藤正一校長)は、板橋区志村第5小学校と交流会およびホテル観察会を行いました。この催しは、戦時中、昭和村に疎開した縁から行われています。児童たちは学校間の垣根を越えて交流を深めました。



手を取り合い協力し、ゲームを楽しむ



6月20日 地域学習講演会 地域を学ぶ

昭和中学校(根岸敦子校長)で地域学習講演会が開かれ、1年生と3年生が受講しました。生徒たちは、村がどのようにして発展してきたのか、また、村の観光産業のこれからについて、講演に耳を傾けました。



講演を行った真下和也さん(左)、島田宏充さん(右)



7月11日 村の景観を守る「花いっぱい運動」 望郷ラインが彩られる

村の景観を守る「花いっぱい運動」が今年も行われました。村づくり協力委員会(後藤幸一会長)と村議会(永井一行議長)が合同で望郷ライン沿いの花植えを行いました。



花植えを行う村づくり協力委員の皆さん